カトリック山手教会月報

やまて

編集・発行　カトリック山手教会 広報委員会　〒231-8652 横浜市中区山手町44番地
☎（045）641－0735　http://catholicyamate.org/

第663号　2025年5月18日

復活徹夜祭、復活の主日ミサ

４月19日（土）午後７時から復活徹夜祭ミサがラファエル梅村昌弘司教主司式により執り行われ、洗礼・堅信・聖体の「入信の秘跡」の祭儀がありました。典礼色は神の栄光を表す白（梅村司教の祭服と聖櫃を覆う布は金、司祭団のストラは白）。典礼は、第１部「光の祭儀」、第２部「ことばの典礼」、第３部「洗礼と堅信」、第４部「感謝の典礼」から構成。聖堂入口で行われた「光の祭儀」では、梅村司教により「新しい火」と、復活した主キリストがともにいてくださることを表すしるしとしての「復活のローソク」が祝福され、火がともされました。続いて、行列の先頭に「復活のローソク」を高く掲げて照明を消した聖堂に入堂し、祭壇に向かう「復活のローソクの行列」があり、祭壇に着くと復活賛歌が教区副事務局長・牧山善彦師と聖歌隊により声高らかに歌われました。「ことばの典礼」では旧約聖書の朗読があり、「入信の秘跡」では33人がお恵みにあずかりました。また、改宗者は２人でした。

４月20日（日）＜復活の主日＞、梅村司教主司式による11時30分ミサがささげられ、司教は説教で「イエスさまが、命がけで示してくださった神の究極の愛は『ゆるし』です。わたしたち自身も洗礼の秘跡を通して『ゆるし』の恵みにあずかりました。無償で、無条件で、すべての罪をゆるしていただいたのです。その神の愛に応えて、これからも信仰の道を歩み続ける覚悟が、いま問われているのではないでしょうか」と話されました。ミサ終了後にパーティーが教会ホールで開催され、主の復活を盛大に祝い、新受洗者の紹介などがあり、司教は信徒の方々に囲まれ、にこやかに接しておられました。

ミカエル鈴木真主任司祭　復活徹夜祭ミサ説教

皆さん、ご復活おめでとうございます。

「キリストの復活」…福音書はそれを〈出会いの出来事〉として描きます。十字架上で亡くなられたはずの方と出会った…それはすべて、まったく一方的にイエスの方から会いに来てくださったものでした。そして、その出会いは、彼らの生き方を変えてしまうほどのものだった。できたばかりのキリスト教を迫害していたパウロも、イエスとの出会いによって180度歩みが逆転したのでした。ただ、彼らは「出会った」時点では、それによって自分に何が起きたかを理解できていなかったのではないか、とも思います。

わたしたちも同じでしょう。時には「出会った」ことさえも気づいていない場合も少なくないのではないでしょうか。あとからじわじわと、そのことに、それによって自分の中に起こったことに気付かされるのかもしれません。そして、その「出会い」は、キリストを通して神さまが〈呼ばれる〉体験でもあるのだろうと思います。キリスト教信仰の土台として〈呼ばれる・召される〉つまり「召命」という要素があると思いますが、言い換えればそれこそが「キリストの復活」である、とも言えるでしょう。

ここ山手教会では、毎年多くの受洗者を迎えるこ

とができて、本当にうれしく思います。特に今年は33人の受洗者と、２人の改宗者がいらして、本当に恵まれた共同体であることを実感します。コロナの３年間、多くの教会では入門講座が開けずに洗礼式がなかったところも少なくなかった、と聞きました。しかし、ここ山手教会では逆にコロナの間、むしろ受洗者が増えました。本当に、大きな恵みであると思います。

いつも言うことですが、神さまからの呼びかけは決して１回限りではありません。わたしたちは生きている限り、神さまから呼ばれ続ける…つまりキリストはわたしたちの中で復活し続けられている、と言ってもいいでしょう。

今年受洗される皆さんとも、そうした「呼ばれる」共同体として、これから共に歩めますよう、心から願っています。

新受洗者は次の方々です。　敬称略・順不同

マリア・リタ	穴澤　千亜紀
マリア・フランチェスカ	雨宮　みどり
カタリナ・ローザ	有田一花
コルカタのテレサ・マチルダ	石井　眞由美
Bernard	鵜之澤　満
Justo	鵜之澤　敦子
マリア・セシリア	忍田有香
マリア・ザビエル・テレサ	加藤幸司
セシリア	河村恭子
ヨセフ	柴山　健太郎
コルカタのテレサ	末澤　瑠里子
Christina	スコット海綸ジュリー
フランシスコ	武田信一
フランシスコ	寺島三郎
マリア・セシリア	萩原恵美
エステル	林　美里
アンナ	船田圭子
フランシスコ	松崎尚介
マリア・ヴェロニカ	松澤幸子
ミカエラ	松澤光香
アウグスティヌス・トマス・アクィナス	松下飛羽
ミカエラ・ヒルデガルト	松下歩未
マリア・セシリア	宮岡結子
マリア・ローザ	宮岡愛佳
ベルナデッタ	村瀬　亜矢子
アンナ	ユウスギョン
アウグスティヌス	吉田隼人
ラファエラ・マリア	吉光基子
マリア	渡辺　真紀子
Absalon	Axel Riffard
ジュヌヴィエーヴ	Chihiro Riffard
マドレーヌ・ソフィー・バラ	Sophia Riffard
Leo	Hansen

改宗者は次の方々です。　敬称略・順不同

飯田琴美

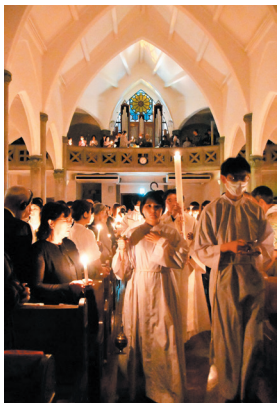
Ben-Hanniel Cherette

復活のローソクの祝福

復活のローソクに点火

復活のローソクの行列

復活のローソクの行列



洗礼

幼児洗礼者への聖香油の塗油

聖なる光と白い衣を身にまとって

堅信

奉納

初聖体

梅村司教とともに

（編集部　土方芳人）

ルカ枇杷晃平助祭「司祭叙階の儀」

今年は横浜教区に３人の司祭（ルカ枇杷晃平助祭、ペトロ ホアン・ドゥック・ナン助祭、ヨセフ トラン・ヴァン・グエップ助祭）が誕生します。

３月20日（木・祝）午後１時から保土谷教会出身の枇杷晃平助祭の「司祭叙階の儀」が、同教会でラファエル梅村昌弘司教主司式により執り行われました。祭儀は①司祭受階者の呼び出し②説教③受階者の約束（司教との問答）④諸聖人の連願と司教の祈り⑤司祭叙階（按手と聖別の祈り）⑥祭服（カズラ）の授与⑦聖香油の塗油⑨パン（パテナ）と葡萄酒（カカリス）の授与⑩司教と司祭団による歓迎―と厳粛に進められ終了しました。

聖歌隊は二俣川教会と山手教会の聖歌隊メン

バーも加わり式典を盛り立て、祭儀後には日本カトリック神学院副院長・林正人師が祝辞を述べられ、枇杷新司祭と梅村司教の挨拶がありました。

また、式典の後に行われた祝賀会では、新司祭のお母さま手作りのケーキに新司祭とご両親による入刀があり、山手教会の教会学校の子どもたちが鈴木真師のギターに合わせ、新司祭とともに、元気いっぱいに手話付きの聖歌で、かわいらしい歌声を披露し、拍手喝采を浴びました。

枇杷新司祭、おめでとうございます。

司祭叙階（按手と聖別の祈り）

感謝の祭儀

お母さま手作りのケーキ入刀

鈴木真師のギターに合わせて歌う山手教会学校の子どもたち

梅村司教、司祭団とともに

（編集部：土方芳人）

世界祈祷日

四方を示す羅針盤、ひざまずいて祈る人、ケルト十字架に輪を組み合わせて多様性と団結を表す

2025年の世界祈祷日は、３月７日（金）、午後１時30分より山手教会聖堂で開催されました。祈りの対象国はオセアニア地域にあるクック諸島、テーマは「わたしたちはおそろしいほどに、すばらしく造られています」。受付でクック諸島の国花ティアレ・マオリをイメージした花（準備委員手製）を受け取り、胸や髪に飾った参加者をパイプオルガンの荘厳な演奏が迎えます。オルガニストの演奏から、クック諸島を思わせる波の音（CD）へと移り、礼拝が始まりました。礼拝では、クック諸島の女性たちの不安、苦難、抑圧への訴えとそれに合わせた聖書箇所が朗読されました。さまざまな苦悩を抱きながらも、クック諸島の女性たちは逞しく、創造主である神への愛と信頼に燃え、すばらしい存在に造られたことを感謝しています。

この礼拝によって、私たちはかけがいのない存在であることを再認識したのです。神に愛される子どもとして私たちは自分自身を大切にし、他の人も神に愛される子どもとして大切にしようと祈りました。礼拝の中で、鈴木真師から説教と祝福をいただきました。説教は、「今日、世界の皆さんと同じお祈りをしていることに感慨深いものを感じます。2025年、カトリックは通常聖年の年にあたります。テーマは『希望の巡礼者』です。巡礼は旧約時代からあり、ポイントは出かけていくこと。その地で祈り、その地の方々と交わり、神とつながること。皆さんも今日、山手教会に来られ、私たちは一つになって祈りました」（要旨）。日本基督教団横浜磯子

教会の中村清牧師からも、ともに祈る喜びのお言葉をいただきました。教派を超えたキリスト者が山手の丘に集い、祈りで一つになったことに大いなる力を感じました。当日はロザリオ会、ヨゼフ会の有志の方々から多大なご協力をいただき、ありがとうございました。当日の参加は５教派26教会１団体、参加者総数は90人でした。献金82,956円は、「日本キリスト教協議会女性委員会世界祈祷日」に送金しました。この献金は日本国内30か所以上の団体や施設に送られます。カトリックでは、日本カトリック正義と平和協議会に献金される予定です。

礼拝のために準備された祭壇

説教される鈴木真師

（文：世界祈祷日準備委員　竹之内 弘美
撮影：編集部　土方芳人）

ヨゼフ会･ロザリオ会主催 四旬節黙想会

～「希望の巡礼者」として復活祭を迎えるために～

谷脇慎太郎師

寒の戻りで寒い日でしたが、聖堂には多くの人が集まりました。今回ご指導された谷脇慎太郎神父様は横浜教区事務局長も兼ねておられ、ご多忙中にも関わらず黙想会を心よく引き受けてくださいました。

四旬節における黙想会と赦しの秘跡は復活祭を迎えるにあたっての大切な心の準備であることを強く話されました。キリストはなぜ十字架にかかったのか？キリストはなぜ復活されたのか？毎年新しい何かを気付かせていただき、新しい信仰の喜びを与えていただけるのだそうです。今年は通常聖年の年、皆さん一人ひとりがご自分の信仰を顧みながら特別の思いでお過ごしのことと思います。谷脇神父様は聖年の意味、また大勅書の『希望は欺かない』、聖年のテーマである「希望の巡礼者」の意味を神父様の思いで話されました。戦争や内乱があちらこちらで起き、間違った考えもまかり通ってしまう昨今には希望を持てない人が多くいるのかもしれません。そのような困難な中にあっても、私たちキリスト者は決してあきらめず前向きに歩んでいけること…それは希望を与えてくださるキリストが常に私たちと共にいてくださり、聖霊のあと押しに励まされるからなのだそうです。そして、毎日の生活の中で神様のこまやかな働きに気付いて、感謝する信頼感を大切にしていくなかで希望が光輝いていくのでしょう。

私たちは、キリストを通して示してくださった神様の愛を感じながら、そして、その愛に応えながらこの四旬節とご復活を聖年の恵みとともに迎えたいと思います。最後に赦しの秘跡をいただいた私たちは、喜びに満ち溢れ帰路に就くことができました。

（文：ロザリオ会　古谷浩子
撮影：編集部　土方芳人）

横浜教区神奈川第３地区 共同宣教司牧委員会の報告

2025年３月30日（日）午後３時から、枇杷新司祭の叙階式の余韻がまだ残る保土ケ谷教会で2025年度第２回横浜教区神奈川第３地区共同宣教司牧委員会（全体会）が開催されました。進行役はいつも会場教会の教会委員長が担当するのですが、叙階式から僅か10日後に再び保土ケ谷教会に集まったので、まずは保土ケ谷の教会委員長さんから叙階式での

第３地区の協力に謝意が伝えられました。

開会の祈りと挨拶が終わった後、３部門の報告が行われ、「信仰を伝える力を育てる部門」からは、２月22日（土）に集まり、聖年についての勉強会を７月頃に考えているとの報告がありました。「祈る力を育てる部門」からは、特に集まっていないが地区内の四旬節の予定を共有する予定になっているという報告がありました。「神の愛を証しする力を育てる部門」からは、３月１日（土）に集まり、傾聴の学びの話や、特に今年の教区懇談会でテーマになる環境問題について話し合われたとの報告がありました。

続いて青少年デスクから報告があり、メンバーの入れ替わりにより会の立て直しが必要になるなどの説明が行われました。D3リーダー会（第３地区教会学校リーダー会）からは、特に集まっていないので報告事項はないとのことでした。教区関係の報告もありましたが割愛します。

続いて審議事項ですが、「信仰を伝える力を育てる部門」より、報告にもあった勉強会で講師を呼んだ場合に地区から謝礼を出してもらえるかとの審議依頼があり、了承されました。また青少年デスクも夏企画の費用の件で審議依頼があり、次回７月の全体会までに金額を提示するとのことで了承されました。申し込みは６月頃になる予定とのことです。今年の教区懇談会の第３地区からの代表者を誰にするか話し合われましたが、先述の環境問題がテーマになることから「神の愛を証しする力を育てる部門」のメンバーから参加してもらうのが良いのではないかとの話し合いがなされました。

次回は７月27日（日）午後３時30分から戸部教会で行われます。

（教会委員会　委員長　小倉 謙）

ロザリオ会便り

ロザリオ会の中には家庭会という８地区に分かれたグループがあります。教会行事にロザリオ会として参加する際には、この家庭会を単位としています。山手、山下町、本牧、本郷町、柏葉、唐沢、旭台、地区外です。どの家庭会に所属するかは自由に選べます。この家庭会の連絡網を通じてロザリオ会からのお知らせが届くようになっています。ぜひ家庭会にも入会することをお勧めします。教会の今週のお知らせでは伝えきれない詳細の事項についても連絡がいくようになっています。今年度の「ロザリオ会のお知らせ」の中に、家庭会入会の申し込み用紙がありますので、それに記入してロザリオ会費と共に事務所のポストに投入してください。どうぞよろしくお願いいたします。

（ロザリオ会　広報　山本 紀志子）

2025年４月度教会委員会議事要約

日時：2025年４月６日（日）午後１時～３時５分
場所：司祭・信徒館１階「松・竹」
議事内容（議事進行：小倉委員長）

１　主な審議確認検討事案　※順不同

⑴　司祭･信徒館エレベーターの更新工事について

● エレベーターの設置後約30年を経過しており、修理のための部品が提供されない状況にあることから更新を検討したい。

【決定事項】
・承認する。

⑵　５月以降の平日ミサについて

● ５月から山手教会の司祭は鈴木師のみとなる。ミサについてはなるべく減らさないですむようにしたいが、祝日のミサは難しい。

【決定事項】
・平日のミサは引き続き火曜日７時のみとする。火曜日が祭日の場合ミサは、なしとする。
・ただし、６月27日（金）イエスのみ心の祭日は10時半よりミサを行う。

⑶　カトリック新聞について

● ４月よりカトリックジャパンニュースとしてウェブメディアに移行する。ウェブを見られない人向けに毎月タブロイド版のダイジェストが発行される。

【決定事項】
・当面、聖堂後ろに置いて様子を見る

⑷　非通知での着信の対応について

● 番号非通知で迷惑電話がかかってくるケースが

増加しているため、ナンバー・リクエストサービスを利用したい。

【決定事項】

・承認する。

⑸　司祭・信徒館「松・竹」プロジェクタ設置について

●教学や映画などの試写会に活用できるようにプロジェクタおよびスクリーンの設置を検討したい。

【決定事項】

・継続検討する。

⑹　寿カレー炊き出しについて

●寿夏祭りが８月10日（日）に開催予定。カレーの炊き出しを行う。

●教会ホールの厨房について調整が必要。

【決定事項】

・承認する。

⑺　敬老の日ミサについて

●昨年の反省点として敬老の日のミサ後、コンサートと重なりゆっくりできなかったという意見があった。できる限り他のイベントと重ならないようにしてほしい。

【決定事項】

・敬老のミサの日は、ゆっくりと過ごせるように11時半ミサのあとにホールを使うイベントは入れないこととする。教会ホールを使用する場合は司祭・信徒館「松・竹」を空けておく。

⑻　新受洗者転入者歓迎会の日程について

●今年の新受洗者転入者歓迎会の日程を決めたい。

【決定事項】

・６月22日（日）とする。内容については今後検討する。

２　今後の活動、報告事項

【ロザリオ会より】

●ロザリオ会主催ミサの予定、５月２日（金）、６月13日（金）、７月４日（金）。いずれも鈴木師司式。６月はサンモール卒業式との関係で第２週に日程を変更する。

●ヨゼフ会、ロザリオ会、福祉委員会共催の講演会を９月21日（日）開催予定

【ICCより】

●４月13日（日）午後６時よりユニオンチャーチ、クライストチャーチと合同で十字架の道行を行う。軽食を伴う。

●４月20日（日）12時半よりイースターピクニックをザビエルセンターで行う。

●ダリル師最終日の５月４日（日）午後４時より、さよならパーティーを教会ホールで開催する。

●６月20日（金）夕方にフロリダの合唱団による合唱コンサートを開催する。

【フォローアップの会について】

●５月18日（日）午後１時～３時まで手作りのロザリオを作る会を予定。

【典礼委員会より】

●病者への聖体奉仕の希望者を募っている。

●聖堂の音響でノイズが入る時がある。ノイズの発生源について不明のため、今後ノイズを確認した際には、日時や状況、どのようなノイズかなど、状況を記録してほしい。

【ロザリオ会より】

●当初イースターエッグを用意する予定であったが、卵の価格高騰のためマドレーヌを作ることに変更した。

●ロザリオ会での巡礼先は、東京の神田教会と調布教会に決定した。

【教学より】

●フォローアップの会は、現在、教会にいる方と新受洗者が馴染めるようにという趣旨なので、声掛けして多くの皆様に参加していただきたい。

【教区地区関連】

●３月20日（木・祝）に枇杷新司祭が誕生した。

●第３地区の集まりが３月30日（日）に開催された。

３　主任司祭から

●青年の集いを７月５日～６日に行う。

●共同宣教司牧サポートチーム神奈川の『信徒・修道者・司祭が共に信仰を分かち合う交流会』を６月14日（土）に中原教会で開催する。

●５月以降、第３地区司祭団としては人数が減ることがあっても増えることはないので、各教会に司祭が１人ということになってしまう。皆さんのご理解とご協力をお願いする。英語ミサについても綱渡り的にはなるが、どうにかやっていく。

４　次回教会委員会

2025年５月４日（日）午後１時～３時終了予定。

（総務担当　宮 裕一）

2025年５月・６月主日ミサの聖歌および奉仕者予定表

	主　日	聖　歌			聖歌隊	時　間	奉　仕　者				備考
		答唱詩編	アレルヤ唱	ミサ曲			オルガン	先　唱	聖書朗読		
５月11日	復活節第４主日	典172 ①②④	典264 第4主日	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	村　松	齋藤(悠)	小佐井	福田(直)	
						７：30	小　嶋	二　宮	田口(利)	神近(千)	
					＊	11：30	佐　藤	遠　藤	室崎(理)	木原(真)	
18日	復活節第５主日	典18 ④⑤⑥	典264 第5主日C	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	手　塚	工藤(元)	飯塚(秀)	志村(光)	
						７：30	渡　邊	末　澤	細谷(雄)	間部(侑)	
					＊	11：30	中　川	小　山	池田(恵)	上瀧(聡)	
25日	復活節第６主日	典55 ①②③	典264 第6主日	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	忠　海	宮(裕)	工藤(元)	島田(節)	
						７：30	手　東	亀　井	東海林(正)	津久井(暁)	
						11：30	太　田	子どもとともに、ささげるミサ			
６月１日	主の昇天	典112 ①②③	典266または 264 主の昇天	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	村　松	柳　川	工藤(元)	櫻井(智)	
						７：30	中　川	石　賀	竹内(千)	武田(登)	
					＊	11：30	手　塚	山本(紀)	後藤(由)	紀國谷(由)	
８日	聖霊降臨の主日	典69 ①②③	続唱 典352 典266または 264 聖霊降臨	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	渡　邊	竹之内	新井田	阿部(眞)	
						７：30	太　田	二　宮	田口(利)	神近(千)	
					＊	11：30	佐　藤	遠　藤	室崎(理)	木原(真)	
15日	三位一体の主日	典48 ①②	典266 三位一体	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	村　松	齋藤(悠)	小佐井	福田(直)	
						７：30	渡　邊	末　澤	細谷(雄)	間部(侑)	
					＊	11：30	米　沢	小　山	池田(恵)	上瀧(聡)	
22日	キリストの聖体	典159 ①②	典266 キリストの 聖体	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	手　塚	工藤(元)	飯塚(秀)	志村(光)	
						７：30	手　東	亀　井	東海林(正)	津久井(暁)	
						11：30	太　田	子どもとともに、ささげるミサ			
29日	聖ペトロ 聖パウロ使徒	典128 ①②③	典277 聖ペトロ・ パウロ	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	忠　海	宮	工藤(元)	島田(節)	
						７：30	小　嶋	時　久	梅田(啓)	稲葉(千)	
						11：30	中　川	村田(義)	小松(美)	荻原(恵)	

編　集　後　記

奈良での桜撮影の思い出。７年間撮影した京都の桜を終了し、2021年３月24日（水）から27日（土）まで「桜と神社仏閣」をテーマに奈良を撮影しました。例年、奈良のソメイヨシノの見頃は３月下旬から４月上旬ですが、その期間は教会報『やまて』の読み合わせ編集会議などの奉仕と重なるためソメイヨシノの撮影はあきらめ、この桜より前に咲くシダレザクラを撮影するのが当初の目的でした。ところが、幸いなことに、その年は全国的に暖冬で、奈良も３月21日にソメイヨシノが開花したのです。出発前日に、訪れる予定のすべての神社仏閣に直接電話して桜の開花状況を確認すると、シダレザクラは満開、ソメイヨシノは２～３分咲きでした。そのため滞在する４日間のうち、初めの２日間はシダレザクラで有名な神社仏閣に行き、後の２日間はシダレザクラやソメイヨシノが咲く神社仏閣に行くことにしたのです。その結果、ソメイヨシノも満開の状態で撮影することができました。特に良かったのは長谷寺と奈良公園（春日大社、東大寺付近、浮見堂など）でした。長谷寺の桜のすばらしさは圧巻で、京都をしのぐ桜の名所と言えるでしょう。境内には約1000本の桜があり、シダレザクラ、ソメイヨシノ、ヤマザクラなどが満開でした。特に五重塔が桜で埋め尽くされている光景は美しかったです。前年秋にも当地で「紅葉と神社仏閣」をテーマに撮影をしていたため、今回は要領よく移動することができました。

（土方芳人）

☆表紙のカット（山手教会）は、濱尾文郎枢機卿様の「えはがき」です。